

聖路加聖歌隊委員有志打ち合わせ会

日 時：2月10日（月）18：00～19：30

場 所：銀座「ルポ」2階個室

参加者：関武矩、大竹惟司、内田研吾、内田恵美子、大西信一、大西礼子

議事：

1. 2002年度聖ルカ聖歌隊会計報告（内田研吾氏より）

現在は収支が相等しい位の状況であるが、将来に備えて少しずつ残し、積立てていく必要があるのではないかと。隊費に相当する額がレクイエム後の打ち上げで消費される現状はおかしいと思う。

- ・ 今後予算を立てるのであるが、決算の結果からだけ予算を考えるのではなく、2003年度の計画を立ててから、予算を考える必要があるのではないかと。（大西し）
- ・ 合宿で宿泊費以外に参加費の名目で徴収しているがこれは必要か。（ ）
→これはコック謝礼に充てるものである。参加費を取らずに、チャペルからの合宿援助費1万円を充てるだけだと、6万円位の赤字となる。（内田け）

2. フリートーキング

- ・ チャペルで楽譜のコピーを増えているが、中根氏から、チャペルの意向として、チャペルで多量のコピーは好ましくない、病院を使ってほしい、との発言があった。（大西し）
→チャペル委員である関・田代両氏を通じ、チャペル側に事情を話し、理解を求める。
- ・ チャペル会衆や他の奉仕職にむけたアピールが必要。

<提案>

- *レクイエムに参加しませんと呼びかける。
- *イースターに祝会を開催してもらい、その場で聖歌隊が歌う。
- *夏季合宿後に報告を兼ねたミニコンサートを開催する。
- *前もって依頼があれば、第2・第4日曜日礼拝後の結婚式などで歌うことも可能であるので、その旨をチャペル委員会に伝える。
- *オルガニスト、アッシャー、オルターギルド、アコライト、サーバー、信徒奉事者、日曜学校などの奉仕職の長と親睦を図る。
- ・ 入隊をどの時点で何を基準に認めるのか。入隊式の必要性はないか。（大西し）
→入隊希望者の礼拝や練習への参加姿勢や状況を見て、最終的には隊長が判断（許可・時期の決定）する。入隊式は今日的には難しいのではないかとこの声が多かった。また、見学したいという人 にはまず 金曜夜の練習に来てもらい、聖路加聖歌隊の実態を知ってもらうことが必要ではないかとの意見もあった。
- ・ 現在、礼拝への欠席は連絡するように義務づけているが、励行している人は限られて

いる。歌唱のパート構成上も重要なことなので、再度徹底をよびかける。又、長期来ていない人には理由を尋ねる。

→現在、「金曜夜の練習は duty でなく、欠席の連絡は不要。日曜の礼拝は duty で、欠席の連絡が必要」としているが、来期は、「金曜夜の練習も duty であるが、欠席の連絡は不要。日曜の……」というように隊員に告知する。(大竹)

- ・ 現在は入隊時期に関わらず、隊費は 1 月に徴収しているが、例えば 1 月入隊者と 12 月入隊者が同じ金額を納めるのはおかしいと思う。(大西れ)

→レクイエム後の打ち上げの会費を個人負担以外に隊費から援助する関係もあり、10 月入隊者から全額取ったこともある。しかし、6 千円（現行は 5 千円）にすれば、月割りも可能なので、入隊月からでもよいかも。今後検討する。(内田け)

- ・ 会衆に近づくためにも、礼拝後にすぐ下に下りて井原先生の挨拶や紹介を聞くのはどうだろうか。

→良い案なので、2 月 23 日（第 4）から実行してみる。(※)

- ・ 井原先生の説教がいまだによく聞き取れないので再度チェックしてほしい。

→再検討する。(大西し)

(※) この件については、2 月 23 日朝の練習時に、「陪餐時に聖歌を持参して下に降り、その後会衆に交って礼拝に参加する」ということに変更された。実施したところ、得るものが多く、今後続行することになった。

以上

(大西礼子 記)